※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。

※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。

※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

カリキュラム・マネジメント

エントリー名: 守谷市立守谷中学校

実践部門

活動名:

主題:学びをつなげる授業づくり 副題:視覚カリキュラムの活用を通して

解決すべき課題: 教科担任制である中学校において, 各教科担当者の教科における高い専門性がある一方

で、他教科の教育活動に目が向きにくい傾向が見られる。そのため、習得した知識や技能を他の場面で活用

するといった学びの連続性を生徒に保障することが難しくなっている。

## 目標·方針:

生徒自らが「つながり」を生かして学びを深めるために、教職員一人一人が教科等横断的な視点にもとづい た授業づくりを行うことを目指す。そのために、小中9年間の学びを俯瞰することができる「守谷中学校区視覚 カリキュラム |を活用した校内研修を行う(図1)。「①つながりの可視化→②つながりを生かした授業実践→ ③つながりの有効性の検証」を行うことで、教員が教科の枠を越えて、カリキュラム・マネジメントに参画していく 組織文化を醸成することを目指す。

## 活動内容:「①可視化→②授業実践→③有効性の検証」=カリキュラム・マネジメント

- ①学年会や教科部会、または異なる教科担当者同士で「視覚カリキュラム」を見ながら、系統性・関連性、 学習内容や育みたい見方・考え方等の視点で、学びのつながりを見いだす。(写真1・2)
- ②見いだしたつながりを授業づくりにいかすために、指導案においてフローチャート図(図2)を作成したり、本 時の展開部分に、どのような手立てで生徒がつながりを生かすことができるかを明記したりし、相互授業参 観を行う(写真3・4)。
- ③本時で生かそうとしたつながりの有効性について、生徒の姿に基づいて検証する事後検討会を行う(写真 5・6)。学期末や年度末に、それまでに実践した教科同士の関連について振り返りを行い、次年度の教 育活動につなげる(図3)。

## 活動の成果:

本時の学びが、これまでの学びやこれからの学びとどのようにつながっているのかを意識しながら授業づくりに取 り組む教員が増えてきた。担当教科内の系統性に関しては言うまでもなく、他教科で身に付けた知識や技能 を担当する教科で生かすことができるような場面を授業に取り入れる(例:社会科の歴史的分野と音楽科や 美術科の鑑賞,数学科の「相似」と測量技術,理科の実験結果の考察と数学科の「関数」)教員が増えて きた。そのことにより、職員室内で教科の枠を越えて、それぞれの教科で学習していることを情報交換する姿が 多く見られるようになり、教員間のコミュニケーションが活性化した。

全国学力・学習状況調査の質問項目「授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか(本校: 41.6% 全国:26.9%) 」等から、自らつながりを生かして学びを深めようとしている傾向が窺える。

## アピールポイント (アイディアや工夫): ※3~5つ程度、 箇条書きしてください

- ○「視覚カリキュラム」を作成するだけに留めず、カリキュラム・マネジメントの実現に向けてのツールとした。
- ○教科等横断的な視点に基づいた授業づくりの推進により、教職員のコミュニケーションが活性化した。
- ○授業研究と連動させることで、一部の教員だけでなく、一人一人の教員のカリキュラム・マネジメンへの参画 意識が向上した。

※事務局記入欄

No. A-61

(イ) 学び方(技能面)

とのつながり↩

(エ) 仲間とのつながり⇔

思いや考えを再構成するため

の対話的な学び↩

における既習事項

④思いや考えを基に創造している↩

写真1:国語科•美術科 音楽科の教員による鑑賞 の授業づくり

【様式2】



写真2:保健体育科の教員 によるボール運動の授業 づくり



図2:指導案に示した「つながり」を示すフローチャート図

アフリカ州↩ モノカルチャー経済 ヨーロッパ外や 酸性雨·地球温暖化₽

図1:守谷中学校区研究構想図

(ア)学習内容(知識面)

とのつながり↩

(ウ) 生活・社会との↩

生活科・総合的な学習の時間・各種教育←」

つながり↩

における既習事項

③問題を見いだして解決策を考えている

英語科•国語科 ディベート形式での討論 ペアトークビ

南アメリカ州の開発と環境(本時)← 「ブラジルは経済成長と環境保全の世 どちらを優先すべきだろうか」

> 数学科「関数の利用」↩ グラフから読み取れること を友達に説明する活動

技術・家庭科-環境に配慮した消費行動や



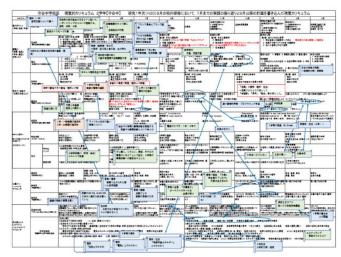
公民的分野↩ 持続可能な社会の 実現に向けて↩

写真3・4:教科の枠 写真5・6:円たくん を越えた相互授業参観 を用いた事後検討会





図3:1年間の実践を振り返り、教科同士の つながりを可視化した視覚カリキュラム



児童生徒が学びを深めている姿(H28中教審答申における「深い学び」の定義) ←

谷中学校区

-ユラム」

の

(オ)教職員のつながり⇔

協働立案による授業研究・ワークショップ型研修↩

①知識を相互に関連付けてより深く理解している ②情報を精査して考えを形成している~